

JTAの健康経営目標と取り組み状況

感染症対策の実施状況について

季節性インフルエンザ予防接種の費用補助や新型コロナワクチン予防接種の推奨など、今後の課題も含め、健康推進活動に取り組んでいます。

感染症対策	指標	対象者	(2025年) 最終目標	2021年	2020年	2019年
インフルエンザ 予防接種	予防接種費用 補助申請者人数	社員	80.0%	74.3%	88.5%	30.5%
新型コロナワクチン 予防接種	予防接種率		90.0%	90.0%	84%*	—

*9月30日時点 2回接種終了68%、1回接種終了16%の合算

2021年の取り組み

- ・インフルエンザ予防接種費用の補助を健康保険組合(2,000円/名)、会社(3,000円/名)の双方で連携し、予防接種の推奨に取り組んでいます。
- ・拡大安全衛生委員会など、産業医による感染症動向や対策など積極的な情報共有を心がけています。
- ・新型コロナワクチン予防接種については、市町村接種並びに沖縄県広域接種会場など、情報提供や、接種予約のとりまとめなど、速やかにワクチン接種が実施できるよう環境整備に努めました。
- ・グループ会社：JALスカイエアポート沖縄さんの全面協力を得て、全航空機の客室内、県内すべての空港のチェックインカウンター並びに各事務所内の抗ウイルス・抗菌コーティングを実施しました。

2021年の結果及び評価

- ・インフルエンザ予防接種については、費用補助もあり、前年度は接種率の向上が見られていましたが、新型コロナウイルス感染症及び新型コロナワクチン予防接種の影響で、接種率が低下したことを課題として今後、取り組んでいきたいです。
- ・新型コロナワクチン予防接種については、日本・世界における感染拡大予防のために、ワクチン接種を推奨していきませんが、任意接種であることを考慮し、全社員への支援を実施していきます。